

電気事業者排出量削減計画書

(あて先) 京都府知事	
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都品川区東品川2-2-20	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） ダイヤモンドパワー株式会社 代表取締役社長 平野 泰敏 電話 03 - 5715 - 1312

京都府地球温暖化対策条例第45条第1項（第45条第2項）の規定により提出します。			
該当する事業者要件	<input type="checkbox"/> 電気事業法第2条第1項第2号に規定する一般電気事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 電気事業法第2条第1項第8号に規定する特定規模電気事業者		
事業の概要	特定規模電気事業 弊社は、工場等からの余剰電力を購入し、オフィスビル、大規模店舗、ホテル、病院等の電力自由化対象（特定規模需要家）のお客様へ、電力の小売を実施する事業を行っています。		
自社発電施設の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
地球温暖化対策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源構成において、天然ガス/都市ガス利用の可能な限りの拡大を図ります。</li> <li>・負荷率の向上に努め、熱効率を向上せしめ、結果として燃料使用量即ちCO2削減に努力します。</li> <li>・自治体の一般廃棄物発電からの電力購入に努力いたします。</li> <li>・バイオマス発電からの電力購入にも力を入れます。</li> </ul>		
地球温暖化対策の推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源グループ（旧電力開発グループ）にて温室効果ガス抑制に係る目標・措置を担当しております。</li> <li>・関連会社での発電効率向上、CO2排出量の把握、バイオマス発電からの電力購入の計画等、当該対策を推進します。</li> </ul>		
電気の供給に伴う温室効果ガスの排出の状況	年度	温室効果ガスの排出量（千t-CO <sub>2</sub> ）	把握率（%）
	平成18年度（実績）	58.00	100
	平成19年度（目標）		
	平成22年度（目標）		
	長期的目標（H32年度）		
電気の供給に伴う温室効果ガスの削減の量削減の措置及び目標	温室効果ガスの排出係数（kg-CO <sub>2</sub> /kwh） 平成18年度（実績） 0.508 平成19年度（目標） 0.676 平成22年度（目標） 0.510 長期的目標（H32年度） 0.510 （目標に係る措置の考え方） <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市ガス・天然ガスを燃料とする電力供給量の拡大に努めます。</li> <li>・重油系燃料ベースの電力購入を減少させるよう努めます。</li> <li>・電力会社からの電力購入を卸市場活用による拡大に努めます。</li> <li>・上記それぞれの相乗効果にて、CO2排出量を削減させます。</li> <li>・平成18年度実績は上記に努めた結果であります。</li> <li>・平成19年度は電源計画の過渡期に当たり、短期的に二酸化炭素排出量の増加が見込まれますが、その削減に努めるべく、当該目標値を設定し、目標達成に努力します。</li> </ul>		
自然エネルギーの供給の量の割合を拡大を図るための措置及び目標	自然エネルギーによる発電量の割合の拡大に係る措置及び目標 年度 自然エネルギー発電量 自然エネルギー導入率 平成18年度（実績） 0 (千kwh) - (%) 平成19年度（目標） 0 (千kwh) - (%) 平成22年度（目標） 導入を検討する。(千kwh) - (%) 長期的目標（H32年度） 極力導入する。(千kwh) - (%) （目標に係る措置の考え方） <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電の計画は、現状、ありません。</li> <li>・再生可能エネルギーによる発電については、その手法も含め、導入の検討を継続します。</li> <li>・他社のバイオマス発電による電力の購入に努めます。</li> </ul>		
	自然エネルギーによる環境価値の量の割合の拡大に係る措置及び目標 年度 自然エネルギー環境価値量 自然エネルギー利用率 平成18年度（実績） 2,689 (千kwh) 0.14 (%) 平成19年度（目標） 8,189 (千kwh) 0.84 (%) 平成22年度（目標） 20,060 (千kwh) 1.35 (%) 長期的目標（H32年度） 平成22年度以上 (千kwh) 平成22年度以上 (%) （目標に係る措置の考え方）		

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義務量として、確定しており、当該数量を目標値としています。</li> <li>・環境価値のみの購入を目標といたします。</li> </ul>
	（未利用エネルギー等による発電量の割合の拡大を図るための措置及び目標） <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体清掃工場における廃棄物発電、工場廃熱利用での発電などからの電力を購入出来る様、努めます。</li> </ul>
	（火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標） <ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働率の向上を図り、結果として、実質的な熱効率の向上につなげるにより、二酸化炭素の排出量の抑制に努めます。</li> </ul>
	（府内の電気需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ意識の向上、効果の確認等々、温暖化対策の働きかけの一助とすべく、需要家からON-DEMANDにて、当該需要家の消費電力量データを入力できるシステムの構築をしております。2007年度夏からの利用が可能な見通しです。</li> </ul>
連絡先	（その他の地球温暖化の防止に貢献する取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>・社有車を持たない運用を今後も継続します。</li> <li>・本社オフィスでの節電に努めます。</li> <li>・関連会社における、放出物の削減、防止につとめさせ、温暖化ガスの大気への漏洩をなくす様努めます。</li> </ul>
	担当部署
	担当者氏名
	住所
	電話番号
	ファクシミリ番号